

防衛大学校ラグビーフットボール部OB会

平成25年度OB総会

平成26年3月7日(金)
総会：1830～1930
懇親会：1930～2100

グランドヒル市ヶ谷

平成25年度防衛大学校ラグビー部OB総会報告・審議内容（案）

1 防大事務局からの報告及び審議事項

- | | |
|---------------------------|-----|
| (1) 平成25年度公式戦成績 | 資料1 |
| (2) 平成25年度OB会費期別納入状況 | 資料2 |
| (3) 平成25年度会計報告及び26年度予算（案） | 資料3 |
| (4) 平成26年度指導体制等 | 資料4 |
| (5) 澤田学生の現状と今後の動向について | 資料5 |

2 幹事会からの報告及び審議事項

- | | |
|--------------------------------|-----|
| (1) 平成26年度OB会役員について | 資料6 |
| (2) 平成26年度事業計画（案） | 資料7 |
| (3) 防大ラグビー部OB会費徴収率向上への取り組みについて | 資料8 |

平成 25 年度公式戦成績

	埼玉工業大	国際武道大	朝大学校	東京農業大	防衛大学校	城西大学	東京工業大	東京理科大学	順位・勝敗引分	得点-失点 得失点差
埼玉工業大	○	○	○	●	○	○	○	○	2位・2.5 6勝1敗	340-79 +261
国際武道大	●	○	●	●	○	○	●	○	5位・1.6 3勝4敗	173-152 +21
朝大学校	●	○	○	○	●	○	○	○	3位・2.2 5勝2敗	264-133 +131
東京農業大	○	○	●	○	○	○	○	○	1位・2.5 6勝1敗	222-93 +129
防衛大学校	●	●	○	●	○	○	●	○	6位・1.6 3勝4敗	160-140 +20
城西大学	●	●	●	●	●	○	●	○	7位・1.0 1勝6敗	58-282 -224
東京工業大	●	○	●	●	○	○	○	○	4位・1.9 4勝3敗	141-200 -59
東京理科大学	●	●	●	●	●	●	●	○	8位・ 0勝7敗	70-349 -279
順位決定 要領	勝点が同じ場合は、直接対決の結果による。 3校みの順位は、当該3校の得失点差による。									

凡 例 ○：勝ち (4点) ●：負け (1点) △：引分 (2点)

平成25年度OB会費期別納入状況

期	納入対象者	納入人員	納入率(%)	期	納入対象者	納入人員	納入率(%)
1	16	—	—	31	17	5	29.4
2	7	—	—	32	19	7	36.8
3	14	—	—	33	15	5	33.3
4	7	—	—	34	16	5	31.3
5	16	—	—	35	15	1	6.7
6	11	—	—	36	15	8	53.3
7	12	—	—	37	19	8	42.1
8	12	—	—	38	16	6	35.5
9	12	—	—	39	19	10	52.6
10	11	—	—	40	12	6	50.0
11	10	—	—	41	18	9	50.0
12	15	—	—	42	32	10	31.3
13	14	—	—	43	33	14	42.4
14	12	—	—	44	36	14	38.9
15	14	—	—	45	24	7	29.1
16	10	—	—	46	23	7	30.4
17	17	—	—	47	17	5	29.4
18	9	5	55.6	48	18	6	33.3
19	20	7	35.0	49	23	7	30.4
20	7	2	28.6	50	31	7	22.1
21	14	8	57.1	51	31	6	19.4
22	7	4	57.1	52	31	4	12.9
23	9	5	55.6	53	26	5	19.2
24	12	5	41.7	54	20	8	40.0
25	17	7	41.2	55	18	1	5.6
26	17	3	17.6	56	27	5	18.5
27	10	5	50.0	57	18	18	100.0
28	12	4	33.3				
29	7	2	28.6				
30	17	3	17.6	合計	747	254	34.0

- ・平成26年2月21日までに、防大に振込通知が届いた分
- ・1～17期のOBに関しては、OB会費ではなく寄付金として別途収入に繰り込み
- ・57期生は、卒業前に本年度分を前納
- ・今春卒業予定の58期生は、来年度分を卒業前に前納予定
- ・納入率(%)は、前納を含む。

平成25年度会計報告及び平成26年度予算(案)

		平成25年度		平成26年度
		予 算	実 行	
収 入	前年度繰越金	1,773,974	1,865,053	1,713,053
	OB会費	2,000,000	1,504,000	2,000,000
	校友会旅費	200,000	138,980	200,000
	寄付金	200,000	221,000	200,000
	利息・その他	1,000	214	1,000
	合 計	4,174,974	3,729,247	4,114,053
支 出	現役支援	700,000	431,485	600,000
	試合等経費	600,000	771,484	700,000
	事務通信費	150,000	122,925	150,000
	幹事会活動費	100,000	100,000	100,000
	会長等活動費	100,000	100,000	100,000
	監督等謝礼金	500,000	410,665	500,000
	慶弔費	50,000	0	50,000
	その他	200,000	79,635	200,000
	合 計	2,400,000	2,016,194	2,400,000
収 支	1,774,974	1,713,053	1,714,053	

※平成25年度実行については、平成26年2月27日現在

厳正な監査の結果、上記報告に相違ないことを確認した。

平成26年2月27日 21期 羽鳥紀道 押印省略

平成26年度指導体制等

1 指導体制

- (1) 部長：藤掛一典（建設環境工学科教授） 筑波大学 H6.10～
- (2) 監督：山本 巧（体育学教育室教授） 早稲田大学 H2.10～
- (3) 顧問（校内OB）
- 羽 鳥2陸佐【#21】（統率・戦史教育室）
- 岡 部 陸 将【#25】（幹 事） H25.8～
- 古 垣1空佐【#28】（戦略教育室長） H23.8～
- 米 内2陸佐【#31】（国防論教育室） H24.3～
- 山 崎3陸佐【#43】（総務部） H23.3～
- 西 生3陸佐【#43】（22中隊指導教官） H25.3～
- 中 川3陸佐【#45】（学生課） H25.3～
- 三 原3海佐【#46】（21中隊指導教官） H25.8～
- 菅 原2陸尉【#53】（122小隊指導教官） H25.3～
- 3月転出
- 佐 賀3陸佐【#44】（3大隊付指導教官） H24.3～H26.3
- 南 1陸尉【#47】（131小隊指導教官） H23.8～H26.3
- (4) 校外コーチ
- 今田圭介【#21NC】

2 59期主将等

- (1) 主 将：戸室 圭人（L O） 追 浜 N 情 報
- (2) 副 将：廣川 翔太（F L） 桐蔭学園 F 公共政策
- 松下 浩平（S O） 清真学園 F 機 械
- (3) 主 務：中村 真史（S H） 科学技術学園 F 国際関係

3 部員数（26.2.21現在）

- (1) 3学年（59期）：44名
- (2) 2学年（60期）：39名
- (3) 1学年（61期）：48名
- 計 131名

澤田学生の現状と今後の動向について

区 分	澤田学生の現状
全 般	修学を継続しつつ、車いすでのリハビリを懸命に行っており、教務・健康状態・就職援護全てが卒業に向けて順調に進展している。 2月1日に行われた納会にも、車いすで参加し、同期に助けられ壇上上がり、監督からの記念品を受領、ラグビー部卒部にあたっての感想を力強く披露した。
教 務	1 問題なく科目を受講 2 追試験を終了、卒業に必要な単位修得を完了した。 3 卒研発表(3月3日 1500実施予定)に向け鋭意準備中 4 3月13日に行われる進級会議で卒業が確定する。
健康状態	排泄等に介助は要するものの、車いすで移動・携帯電話の操作は、自力で可能
就職援護	1 1月28日(火)に福岡地本援護担当者との面談実施し、今後の進路について情報交換を図った。 2 ファイナンシャルプランナーの資格試験に合格
卒業式	卒業式参加の参列については、検討中→別途校長から証書授与の方向

《 追試験風景(25.12.5) 》

「安全保障と自衛隊」(防衛学 前田教授)
 ※口頭試験 (於:2大隊当直幹部室)



《 学校長との会食(25.12.5) 》



今後の
動向

○福岡地本の援護受け
 岡部幹事の働きかけにより、福岡地本より援護活動の支援を受けている。
 (福岡地本は澤田のための担当者を決めており、3~4年は異動させない態勢をとってくれているため、中期的な就職援護が可能である。)
 ○卒業後の本人の希望
 地本の支援を受けながらの具体的な就職活動に入る前に、運転免許等、さらに資格をえるべく、卒業後約1年間、所沢国立リハビリセンターで過ごし、さらに高度なりハビリを実施して、故郷での就職に備える意向

OB会
の支援

福岡地本による援護活動の進展を見守りつつ、必要な場合、OB会として就職援護等の活動を支援していく。

《 福岡地本部長との面談 》



《 開校祭において 》



復学状況(写真)



出迎え状況(10月1日)



学生隊バーベキュー参加状況



幹事との懇談



校友会(ラグビー)参加状況

平成26年度防大ラグビー部OB会役員(案)

役職	期	区分	氏名	所属
会長	19	A	塚田 章	
副会長	21	N	荒木 幸治	
副会長	21	F	横山 重治	
幹事長	33	A	兒玉 恭幸	陸幕人事部募集援護課
副幹事長(陸)	36	A	足立 吉樹	陸幕装備部装備計画課
副幹事長(海)	35	N	藤田 泰三	海幕総務部総務課
副幹事長(空)	34	F	紫村 孝詞	空自東京気象隊
幹事会総括(陸)	42	A	中村 雄三	陸幕運用支援・情報部
幹事会総括(統)	42	A	久保 明義	統幕運用部運用第1課
幹事会総括(海)	47	N	佐藤 哲平	海幕総務部総務課
幹事会総括(空)	43	F	谷口 幸輔	空幕防衛部施設課
事務局長	28	A	古垣 吏一	防大防衛学教育学群
事務局総括(会計)	53	A	菅原 剣	防大第12中隊
事務局総括(名簿)	46	N	三原 大典	防大第21中隊
事務局総括(会報)	43	A	西生 雅史	防大第22中隊
期幹事	1期: 深山 明敏 2期: 高岩 利彦 3期: 高安 公一 4期: 杉山 蕃 5期: 上村 俊一 6期: 大塚 恵司 7期: 石田 潔 8期: 鬼沢 勲 9期: 新井 宏 10期: 村松 洋一 11期: 谷 勝治 12期: 中村 勇 13期: 高岡 進 14期: 楯岡 治 15期: 杉谷 博幸 16期: 増田 憲二 17期: 宇山 佳男 18期: 中森 正良 19期: 宮本 恭良 20期: 精山 英人	21期: 横山 重治 22期: 将司 覚 23期: 吹野 健彦 24期: 山本 佳司 25期: 岡部 俊哉 26期: 立花 尊顕 27期: 橋本 良一 28期: 古垣 吏一 29期: 上尾 秀樹 30期: 早崎 功一 31期: 藤田 英俊 32期: 高野 浩明 33期: 兒玉 恭幸 34期: 吉浦 健志 35期: 村田 有治 36期: 北川 英二 37期: 徳重 広為智 38期: 木田 雅彦 39期: 佐保 誠次 40期: 高倉 敬	41期: 庭田 徹 42期: 香川 賢士 43期: 谷口 幸輔 44期: 小林 卓雄 45期: 福島 政則 46期: 南 広作 47期: 大石 将也 48期: 山内 佑介 49期: 大場 亮寿 50期: 荒木 廣太 51期: 矢野 広明 52期: 中元 次朗 53期: 櫻木 敬士 54期: 大木 浩義 55期: 古賀 大智 56期: 原田 崇道 57期: 辻 和磨 58期: 眞田 光隆	
BOB	42	A	岡田 豊	陸幕防衛部付
全自大会主務	42	A	香川 賢士	陸幕防衛部
全自大会 副	42	A	奥 和昌	陸幕運用支援・情報部
会計(市ヶ谷)	42	A	早田 康孝	陸幕装備部
防大防衛部	42	A	香川 賢士	陸幕防衛部

26年度事業計画(案)

年度	月	現役主要行事	OB会活動	備考
26	4	春季定期訓練	○会報の発行 ・OB総会の決定 ・定期戦等の予定 ・26年度会費の徴収依頼及び25年度会費の納入状況把握 ○名簿の更新 ○防大指導者人事調整	
	5 ・ 6	定期戦等	○定期戦支援・応援 ○期幹事会	現役支援
	7	夏期定期訓練		
	8	夏合宿	○夏合宿支援 ○名簿更新 ○3月防大指導者人事調整	現役支援
	9 ・ 10 ・ 11 ・ 12	秋季リーグ戦	○秋季リーグ戦支援・応援 ○全自ラグビー大会支援 ○入替戦(予定) ○謝礼(監督、コーチ) ○リーグ戦支援・応援 (防大との調整により応援に最適な試合を選定し、OBによる応援及び懇親会を計画)	現役支援
	1		○会報発行 ・秋季リーグ戦の結果 ・OB総会、送別会の案内	
	2	送別会	○送別会 ・新OBへの記念品贈呈	
	3		○BOB総会支援 ○OB総会・懇親会	

防大ラグビー部OB会費徴収率向上への取り組み

1 趣旨

OB会費納入率低迷(34%)に鑑み、駐屯地・基地単位での組織的な徴収によりOB会費納入率の向上を図るとともに、各駐屯地・基地のOB名簿を作成配布することにより駐屯地・基地毎の親睦を促進する。

2 具体的実施要領

- (1) 陸幕、海幕及び空幕の人事部を通じて、防大ラグビー部OBの情報を収集し、各駐屯地・基地ごとの名簿を作成
- (2) 作成した名簿を防大OB会事務局に送付し、事務局から各駐屯地・基地等に所在するOBの最前任者に会費の徴収を依頼
この際、副幹事長(陸・海・空)等により、各駐屯地・基地の最前任者に対し電話等にて口頭にて協力依頼を実施する。
- (3) 各駐屯地・基地等の最前任者は、各駐屯地・基地等のOBの中から担当者を指名し、OB会費徴収の指示
- (4) 各駐屯地・基地等の担当者は、OB会費を徴収し、事務局へ振り込みを実施
この際、各駐屯地・基地の徴収目標率を80%とし、これを達成した場合は超過金を各駐屯地・基地の計画で運用できるものとし、各駐屯地・基地でのOBの交流(懇親会・クラブ活動等)を促進する。
- (5) 振込の時期については、4～7月を基準とする。その際、名簿の更新に関して防大OB会事務局に通知し、防大事務局は名簿を毎年更新する。

【組織的なOB会費徴収のイメージ】

